

令和6年新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、御家族ともども穏やかな新春をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。

さて、昨年中の県内における交通情勢につきましては、交通事故死者数は47名で前年と同数でしたが、発生件数・負傷者数は増加し、死者のうち高齢者の占める割合は約6割と高水準でした。また、中高生が関係する自転車事故は、前年比で大幅に増加している状況であり、高齢運転者対策や中高生を対象とした自転車事故防止対策が喫緊の課題であると認識しているところであります。

当協会におきましては、平素の交通安全活動や各季の交通安全運動では、各地区の交通安全協会を中心に、関係機関団体等と協力して様々な交通安全諸対策を推進しました。

特に、高齢者の交通事故防止対策としては、女性部を中心に、普段高齢者が使用している靴に反射材を直接貼る「足元に生命（いのち）の発信運動」を推進したほか、県警察が推進している「高齢運転者ミーティング」に交通安全教育車「ふれあい号」を派遣しました。

その他、こどもの交通事故防止対策として、小学校に入学する県内の全新1年生に対して、黄色い交通安全傘約1万6千本を贈呈したほか、交通事故防止ポスターコンクールにおいては、高齢者の交通事故防止に加えて、中高生の自転車交通事故防止を新たなテーマとして作品を募集し、その入賞作品を各種広報媒体に活用するなど、子どもから高齢者に亘り全世代を対象とした広範な交通安全対策を実施したところであります。

本年も、これまで実施してきた取組を更に発展強化するなどして、交通事故総量の減少に向け、組織一丸となって各種交通安全対策を講じる所存です。

結びに、本年が皆様方にとりまして幸多い年でありますよう、心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

令和6年1月

公益財団法人群馬県交通安全協会

理事長 町田 錦一郎